

2023年6月

かじしほ
カトリック片瀬教会



聖霊降臨をきっかけに

ブランチフィールド神父

5月24日、水曜日。青空が美しい。今日は何十羽のカラスに見舞われて、鳴き声がうるさい。

28日の日曜日は聖霊降臨の祝いです。教会の誕生日となっています。聖霊に満たされた弟子たちは、集まった多くの人々に向かって、主の復活を宣言しました。信じて、大勢の人が洗礼を受けました。

この時をきっかけにして、みなさんにアピールしたい。教会に来られているみなさんにだけでなく、教会の名簿に載っているすべてのみなさん、かつては洗礼を受けて熱心に関わったが、いつのまにか来られなくなったみなさん、あるいは幼児洗礼を受けて、子供として侍者を務めたこともあるが、大人になって教会のための時間がなくなったというみなさんに、例外なくアピールしたい。

3年以上前から世界に広がったコロナによって、全世界はしばらく麻痺してしまいました。3年の間ほとんどミサに参加することができなかった。大勢が集まることができなかった。さびしい体験もしました。グローバルな社会は意外に不安定なもの気がついた。

いよいよ教会はコロナの影響から立ち上がろうとしています。人が集まって、話し合っ、歌ってもいいとなりました。片瀬教会ではみなさんのために、地域に基づいてコミュニティを設けています。わたしたちが互いに関わって、温かい共同体となるように、みなさんも参加してみませんか。

今週、朝のミサでヨハネの福音書の17章が連続で読まれています。17章の11節または23節にあるように、イエスはみな一つとなるようにと祈っておられます。主が祈ったように、希望をもって、新しい気持ちで、関わりましょう。

2023年 6月度 教会委員会報告

開催日時：2023年5月21日(日)午前11時35分～13時30分

出席者：ブランチ神父、委員長、財務、監査、典礼、宣教司牧、福祉、総務、教会学校、
中高大青会、一粒会、市内キリスト教連絡会、シャルトル聖^パウロ修道女会片瀬修道院

□ブランチ神父のご挨拶

聖霊降臨をきっかけに新しい共同体をアピールしたいです。コロナが治まって戻ってきている人もいますがそうでない人もいますので、今度のからし種やホームページを通して呼びかけをしたいです。洗礼を受けてから来なくなった人もコミュニティをきっかけに温かい体験ができるように声をかけて下さい。洗礼を受けていない子供にも声をかけ出て下さい。このようなことが委員会を通して伝わってほしいと思います。

□報告および連絡事項

1. 横浜教区研修「カトリック入門講座担当者養成コース」に2名参加することになった。
2. 市内キリスト教連絡会より：予定として
 - 1) 平和のための合同祈祷会 8月5日(土) 14:00～ 場所未定
 - 2) 市民クリスマス 12月9日(土) 16:00～ カトリック藤沢教会
 - 3) 市民クリスマスのプレキャロリングは、コロナ前と同様バンド、子どもを中心に協力する。
3. シャルトル聖パウロ修道女会より：5月28日(日)は、シャルトル聖パウロ修道女会の最初のスール3名が函館に上陸し、ミッションを始めた記念日。10時のミサで、この記念を感謝する意向を加える。歴史上函館と片瀬との関係があるのでそれを紹介するリーフレットを作成中。
4. 典礼部より：横浜教区典礼研修会を6月11日(日)から7月9日(日)に変更して行うことになった。6月11日は初聖体があるため。10時ミサ後、初聖体のお祝いパーティをする。パーティ準備には教会学校を中心とし協力者を募集する。
5. 委員長より：4月23日第5地区「伝える力を育てる部門」の集まりがあった。テーマは「宣教とは」ということで、雨宮慧神父の「聖書に聞く 第7回宣教とは」(「福音宣教」2006年7月号)資料を読み合わせしたことの報告があった。資料のコピーを委員に配布した。
6. 総務より：事務所の電話当番は現在決まっているのは、(木)総務、(金)会計と典礼、(火)午前中は委員長。その他、協力者をお知らせ等で募集する。福祉部、宣教司牧部、ガーデニングサークル等も協力をお願いします。
7. 「カトリック信徒障害見舞金制度」(補償期間‘23.6.1～’24.6.1)の継続

申込をする。

8. 一粒会より：一粒会大会 10月9日(日) 清泉小学校に決定。詳細は後日
9. まりあ食堂は、7月10日以降、夏の団体合宿前にダスキンによる信徒会館食堂の消毒をする。
10. 宣教司牧より：カフェマリオの再開を検討中。この際、名前を変えてはどうかという意見あり。
11. 片瀬江ノ島駅からの道案内があるといいとの意見があり、白百合幼稚園、川崎建設に協力をお願いすることになった。
12. 財務より：トルコ地震支援金 87,323円集まる。カリタス・ジャパンへ送金する。
13. 長谷川路可の掛軸は、レプリカ作成の為6月初旬に搬出する。掛軸が一時的なくなるのをお知らせやホームページに記載する。

□ 検討・決定事項

1. マドンナ会・ヨセフ会統合提案アンケートの結果(別紙資料)
 - 1) 信徒の意見を検討し、委員会としては、信徒の会ではなく信徒全体が関われる形を先ず模索しながらやってみる事になった。理由は、既に私たちが「片瀬教会」という集まりであるのでさらに会を作る必要はないのではないかとということ。イベントをするのであればその都度募集すればよい。また、祈りの会、黙想会、講演会等 霊的行事に注力する必要がある。今年はこの状態でやってみる。コミュニティ毎に活動ができるようになったらいいという意見があった。
 - 2) アンケートの結果(生のご意見)は、信徒に配布する。
2. 物置設置の工程段取りを別紙にて説明。現在の物置から物の搬出は5月26日(金)と28日(日)に実施。作業協力者を募集する(旧ヨセフ会連絡網を使用)。またこの際不用品を廃棄する。必要な物は事前に申し出するか一旦引き取ること。新しい物置への物を搬入は、6月4日(日)
3. 当教会での3部門(祈る力を育てる、伝える力を育てる、証しする力を育てる)の役割・活動を育てていくために、横浜教区の共同宣教司牧に関する司牧書簡を教区より取り寄せ、信徒に配布する。コミュニティでの読み合わせをする等の意見があるが、取り寄せて内容を見て委員会でどう活かすか検討することにした。
4. バザーのやり方について信徒へのアンケートを実施する。

次回委員会開催 6月18日

マドンナ会とヨセフ会統合提案に関する アンケートの結果と委員会の見解

教会委員長 池尾昇治

この度は、「マドンナ会とヨセフ会統合提案に関するアンケート」にご協力頂き有難うございました。皆様から様々な貴重なご意見を頂きました。この内容を元に5月21日の6月度教会委員会で検討しました結果をご報告します。

まず、アンケートの結果としては、統合賛成34件、現状維持11件、その他9件と統合賛成が多かったのですが、委員の話合い結果としては、信徒の会ではなく信徒全体が関われる形を先ず模索しながらやってみる事になりました。理由は皆様のご意見を読んでいくと、私たちはすでに「片瀬教会」という一つの集まりであった、ということに気づかされました。そうすると教会学校、中高大青会は子どもや若者達を育てるために必要ですが、成人信徒の会は何のために必要なのでしょうか。イベントをする会でしょうか。そういう疑問から至った結論です。

もし、イベントをするならそのたびに参加を募ったらいいのではないかという意見も出ました。今までは、これはマドンナ会、あれはヨセフ会という風に決まり事がありましたがそれが無くなるのでより一層皆様の協働をお願いする次第です。今年は、この形で教会運営を進めていってみようと思います。もう一つ皆様のご意見を伺って、もっと祈りの会等靈的活動を信徒として自主的に増やしていければなと考えます。

私たち片瀬教会が一つになって神様に向かって歩むよう皆でお祈りしたいと思います。感謝のうちに。

聖ペトロと聖パウロ

6月29日は、聖ペトロと聖パウロの祭日です。この二人はキリスト教の土台を造り、共に教会の成長と一致のために命を懸けて尽くした偉大な聖人です。

ペトロはガリラヤで漁師でした。それがイエスから「わたしについてきなさい。人間をとる漁師にしよう。」と言われ、イエスに従いました。イエスから「岩」を意味する「ペトロ」という名前を与えられ、後にイエスから「わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てる。わたしはあなたに天国の鍵を授ける」と約束されました。でも聖書の中ではイエスと共にいたペトロは純粋な人には見えるけれど、とても「岩」という感じではないです。イエス受難の時には、自分はその人を知らないと言って逃げるし…。復活したイエスに「わたしの羊を飼いなさい。」と言われ、ローマに教会を構築しました。皇帝ネロの迫害下、ローマから去ろうと街道を歩いているとペトロに向かって歩いてくるイエス・キリストの姿を見ます。ペトロは驚いて尋ねます「主よ、どこに行かれるのですか？」と。キリストは「そなたがわたしの民を見捨てるなら、わたしはローマに行って今一度十字架にかかるであろう。」言われます。ペトロは迷うことなくローマへ引き返し、捕らえられた後、逆さ十字架に吊るされて殉教しました。まさしくこの時彼は、「岩」となったのです。その後、殉教した場所にサン・ピエトロ大聖堂が建てられました。ローマの司教は、教皇としてペトロの使命を受け継いでいます。従って、教皇職は「ペトロ座」とも呼ばれます。

パウロは小アジアのタルソス生まれ。名はサウロと呼ばれていました。ファリサイ派のエリートだったようです。その為、キリスト教徒を迫害していました。ある時、キリスト教徒を捕らえるためにダマスコへ向かっている途中、「サウロ、サウロ、なぜ、わたしを迫害するのか」と呼びかけるイエスの声をきき、地に倒れました。この復活したイエスとの出会いで、サウロは回心し、何が信ずるべき道か悟り、「イエス・キリストこそ神の子である」と宣べ伝え始めます。彼は宣教のため、小アジア、ギリシャ、ローマ、コリント、アテネまで行っています。パウロもペトロの殉教と同じ頃、ローマで捕らえられて殉教しています。

二人の使命の違い、ペトロは「使徒たちの頭、教会の礎」であり、パウロは「異邦人の使徒」だったのです。



ガーデニングサークル 朝顔プロジェクトに参加しました！

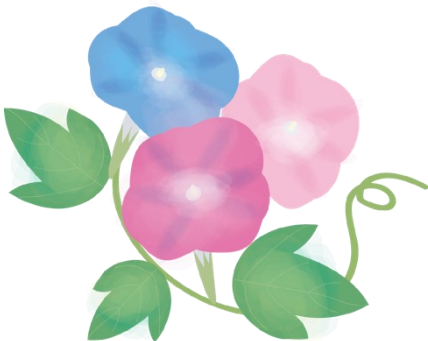
東京オリンピック時に育てた沢山の朝顔の種を今年撒いて育て、咲き終わった種で、来年のパリオリンピックに繋げようという運動があります。

朝顔プロジェクトメンバーの信徒のNさんの声かけで、この活動に協力するスタートを切りました。

5月14日、ガーデニングサークルメンバーと教会学校の子どもたちが力を合わせ、新聞紙を丸めておよそ100個のポットを作り、腐葉土を入れ朝顔の種を大事に埋めました。発芽してつるが伸び、やがて花が咲いて最後に種が取れるまで愛情を持って育てることで、何かを感じ取ることができるでしょう。その種が来年花を咲かせ、パリオリンピックのマルセイユセーリングの選手へのエールになるという素敵な企画です。

更にサークルでは、片瀬教会内で育てた植物を四季折々に撮影し、メンバーで選んだ聖句を添えてポストカードを作成しました。

近日中に公開予定です。どうぞお楽しみに！！



5月17日発芽

一粒会について

金岩哲哉

我が国ではカトリック司祭が少ないので、各地区で一人の司祭が数か所の教会の主任になっております。以前片瀬教会でも常駐司祭を置かず必要に応じて藤沢教会から派遣させる案が検討されました。幸い実施されませんでした。病気や高齢で勤務出来なくなる神父もおられます。このままでは司祭が少なくなり未来が心配です。日曜日には司祭が居ないのでミサではなく、信徒だけの祈りの会になります。

司祭の召命を目的として各地に「一粒会」が創設されました。横浜教区では1942年に「横浜教区一粒会」が創設されました。この会では司祭の召命の為の毎日の祈りと毎月の献金を行います。神学生の育成の為多額の費用が必要です。「一粒」(ひとつぶ)の金額、些少のお金を育成のため献金します。年に一度一粒会大会が開かれ各地から集まって祈ります。コロナ発生以前では千名ほど集まりました。片瀬教会から十名ほど参加しました。今年十月に清泉小学校で開かれる予定です。司祭召命のため共に祈りを捧げましょう。



● 6月の典礼

1日(木)	聖ユスチノ殉教者	17日(土)	聖母のみ心
3日(土)	聖カロロ・ルワンガと同志殉教者	18日(日)	年間第11主日
4日(日)	三位一体の主日	21日(水)	聖アロイジオ・ゴンザカ修道者
5日(月)	聖ボニファチオ司教殉教者	24日(土)	洗礼者聖ヨハネの誕生
11日(日)	キリストの聖体	25日(日)	年間第12主日
13日(火)	聖アントニオ(バドバ)司祭教会博士	28日(水)	聖イレネオ司教殉教者
16日(金)	イエスのみ心	29日(木)	聖ペトロ聖パウロ使徒

● 6月の予定

- 1日(木) まりあ食堂
- 10日(土) 神奈川ヘリテイジマネージャー協会見学 13:00~15:00
- 11日(日) 10時ミサ 初聖体 ミサ後お祝いパーティ
- 18日(日) 10時ミサ後 7月度教会委員会 ミニ福祉バザー

● 教会への緊急連絡（葬儀等）についてのお知らせ

司祭が不在な場合、電話当番（月～金 10時～16時）を設けていますが、当番も不在な場合もあり、その場合は司祭の携帯に直接電話してください。

● 長谷川路可掛軸についてのお知らせ

京都にてレプリカを作成するため、6月22日頃から長谷川路可の掛軸を持ち出します。当面祭壇から掛軸が無くなりますのでご承知おきください。

2023年6月号

発行 カトリック片瀬教会

〒251-0035

藤沢市片瀬海岸2-2-35

TEL/FAX 0466-22-4646

<https://www.catholicatasechurch.com>